

東日本大震災 交流会 企画書 (総務部)

被災地オテガミプロジェクト推進チーム
代表 久保田 洋一 (090-2455-5677)

1. タイトル

『大震災から8年～現地に学び、そしてつながる交流会』

～陸前高田市・大槌町の皆さんと語ろう～ [31.3.9(土)]

2. 背景 (土) 日 9 月 3 日 10:00

昨今、大きな災害が日本列島であちこちに頻発し、他人事ではないと実感されます。片や東日本大震災の被災地は8年目の今、ハード・インフラ面は遅れながらも国の予算に追われて、早晚その姿が見える目途が付いてきました。しかし、復興工事一巡後の産業基盤の脆弱さは否めず、併せて壊れた社会・つながりの再構築は大きな課題であり、本当の復興はこれからです。そしてこの部分は当に自分たちの知恵と気持ちで進まねばならない部分であります。陸前高田では2019年からの10年を期間とする「まちづくり総合計画」が、ようやくこの11月9日に審議会から答申される予定です。

都市型の阪神淡路大震災と違い、三陸地方はいわゆる“いなか”であり、8年経とうとしている今、世の中の関心は薄れ、風化が進み、被災地や個々の被災者の胸の奥に仕舞い込まれた悲しみ・苦しみ・本心等話題にも上らなくなりました。

我々オテガミプロジェクトは、24年からおカネ以外の想いを集めて陸前高田に届けて5,300件、昨年からはじめた図書館支援も古本12,000冊分の約20万円となり、コーラス(25人)、松植樹(26人)等現地訪問15回と、相手を絞って絶え間なく、深く、多彩にパイプを太くしながら交流に意を注いできました。今回はこれらの交流を基にその芽を大きく育てたい。

大槌町へは共催の「ながの福ソウくんプロジェクト」が、震災直後から主婦グループ約20人での手作りの小物の売上金を、大槌町の子ども達に図書券などで支援し続け、その額250万円となっています。

3. 目的

時あたかも「想定外」なる言葉は死語となり、同時に千年に一度と言われる災害に対しても風化が進む中、その直接の被災者をお招きして共に考える機会をつくります。

- ① 防災・減災について、その臨場感ある実際の体験から学ぶ。
- ② “新しいまちづくり”は、人口減少・高齢化そして極集中等、被災地に限らない共通問題と捉え、一緒に考える。

③ 遠い三陸と長野の地。これまでの交流の芽を育て、そしてさらにたくさん、周りに。

(ちよっと説明)

書画会 会派交 災災大本日東

今回の交流会は一方通行の“講演会”形式はとらず、ファシリテーターを軸に、パネリスト、会場そして現地と結んでのライブ・ディスカッション交流会にしたい。三陸のような遠距離地は、体力、資力、時間などで往来が制約されるが、実は「オテガミ」はそのためであり、その延長線上に今回の交流会があります。この機会に更に新しい交流が芽吹き、それぞれのファンが一人でも増える事を期待したい。そしてそれは何も被災地の為ではなく自分の為でもあります。

4. 日時、場所、共催、後援など

日時 2019年3月9日(土) 13:00~15:30 パネリストとの打ち合わせ 11時~

場所 長野市勤労者女性会館「しなのき」。

陸前高田物産販売所開設…市民交流センター(予定)⇒(一社)SAVE TAKATA依頼済。

協賛金 大人 500円。

共催 ながの福ゾウくんプロジェクト、(財)長寿社会開発センター 長野地区賛助会。

後援 も 長野市教育委員会、信濃毎日新聞社、NHK 長野放送局

5. 「ながの福ゾウくんプロジェクト」(代表 近藤浩子さん)との共催について。

主婦 20人が月2回集まって小物を手造りし、大槌町の小学生に図書券等を現地の一頁堂を窓口で贈り続けている。この間 250万円になった。現地訪問も数回実施。

今回同様に甚大な被害がある先に、長野市で継続して活動しているグループが共催で、現地の方を招いて交流会を実施することに意味があり、今後お互いの活動に資する。

6. 交流会の進行形態

第1部 ・事前に各パネリストから提出してもらった「ミニレポート」(プロフィール、2011.3.11現在の所在、行動 etc 数項目)に基づいてファシリテーターとのやりとり。

・google hang outs による現地とのライブ交流。(Aパッセのバブックススペース予約済)
オテガミにより出来ている交流相手との「お見合い」、周りの飛び入りも。

休憩 ・コーラス Vi・VOCE(大槌町と交流団体)。

・会場から各パネリスト毎の質問カード集め。Ex「佐々木カード」。

・プログラムによるパネリストのプロフィール・主な論点、第一部のやり取り等から質問収集は無理なく可能と史料。

第2部 上記質問による質疑応答。

最後に 各パネリストから締めくくりの一言。

7. 招致パネリスト等

○陸前高田関係

- ・ 佐々木美代子氏(77才) 元教員 震災当時陸前高田市女性団体協議会会長
避難所運営リーダー、総務省認定語り部
2016年8月、防災国民大会全国婦人代表として発表(東大)
2018.8「女性の集い」で「3.11 女性の視点」として講演(市内)、今回の中心論点。
今回伝えたい事…重い意味での感謝
オテガミプロジェクトとは2013年からの交流関係
- ・ 佐藤 慧氏(36才) 盛岡出身、dialogue for people 所属のフォトジャーナリスト。
アフリカなどで活躍。両親が津波に被災、母親は1ヵ月後に遺体で発見。
安田菜津紀氏の夫君、父親は震災当時の県立高田病院副院長。
今回の論点:自然と人間の共生
著書「フアインダー越しの3.11」他、陸前高田の取材記事。
- ・ 菅野 安納(20才)さん 震災当時中一、中心市街地で自宅全壊⇒仮設生活
現在専門学校でマンガコース専攻。(在仙台)
今回の論点「普段の何気ない日常に感謝して生きる」マンガを1月/中旬に仕上げ
※彼女の父親がこのオテガミプロジェクト活動に入ったきっかけの人物。(2012.6)

○大館町関係…人選中 ⇒ 2人予定

○ファシリテーター 内山二郎氏 (財)長野県長寿社会開発センター理事長

8. 最後に。

単なる防災研修会ではなく、これまでの交流活動の土台の上で展開する双方向型の実のある交流会にしたい。これまで5300件余のオテガミの実績があり、その協力者リストがある。今回交流会のご案内は、勿論広く募集するが、核となるのはオテガミ(手紙、絵手紙、編み物、ノルディックウォークのポール、冬のサクラの花木他)や、松の植樹などで現地に行くなど被災地への想いを行動として表した協力者が重要な役割を担う。そしてこれまで単にお手紙を送る(取り次ぐ)だけに止まらず、現地の情報を積極的に収集し多方面にわたりパイプづくりに努力してきたこともよかった。これを機会に更に多くの被災地への真の理解者が増え、お互いが励まし合うつながりが出来る事を願う。

久保田 洋一

☆ < 交 流 会 > 開催 ☆

『大震災から8年 ～現地に学びそしてつながる交流会』

～陸前高田市・大槌町の皆様と語ろう～

—被災地 オテガミプロジェクト—

あの震災から8年 日本列島に頻りに襲い掛かる多くの自然災害
防災・減災とともに、今私たちに必要な心のつながり
このつながりを深化すべく私たちプロジェクトはオテガミ、現地訪問を実施しています
今回はこれらの課題に正面から関わっている方々の話をお聞きし、
どうつながりを構築するか共に考える場として交流会を企画しました
皆様のご参加をお待ちしています

日時： 平成 31年 3月 9日 (土) 午後1時から

会場： 長野市勤労者女性会館 「しなのき」

★ パネリスト ・佐々木 美代子 氏

(陸前高田市在住、震災時女性団体リーダー)

・佐藤 慧 氏

(フォトジャーナリスト 岩手県出身 今回の津波で母親を亡くす)

・菅野 安納 氏

(陸前高田市出身震災時中学1年生、自宅全壊 漫画家志望)

・大槌町関係の方々

★ ファシリテーター 内山 二郎 氏

(長野県長寿社会開発センター理事長)

★ アンサンブル ヴィ・ヴォーチェ 東日本大震災後、大槌町の合唱団と

交流している長野市の合唱団

★ 協賛金 500円

★ 陸前高田市民とのネット回線でのライブ交流 (Google Hangouts)

★ 現地海産物 即売会開設予定

共催 ながの福ゾウくんプロジェクト、(財)長野県長寿社会開発センター賛助会

後援 長野市教育委員会、信濃毎日新聞、NHK長野放送局



東日本大震災の

被災地はまだ復興していません。

※2019年4月から10年計画の「まちづくり総合計画」が始まることです。

(陸前高田市)

◎オテガミで、「忘れてないこと」伝え続けましょう。

★オテガミの出し方

380-0833 長野権堂郵便局「陸前高田のみな様」宛(局留め)に、適宜の方法でお送り下さい。私達が陸前高田市民にお届けします。

◎古本で、津波で流失した図書館の充実に協力しましょう。

★「陸前高田市図書館ゆめプロジェクト」により、寄付金に替えて支援します。

*対象：ISBNコード入りに限ります。(裏表紙など)

*方法

① 毎月第4木曜日に古本回収所を開設しています。お持ちください。

場所：権堂市民交流センター 時間：10～12時

② ご自分で対応する場合。荷造りして下記によりご対応頂けば集荷料無料。

インターネットで「陸前高田市図書館ゆめプロジェクト」から、要領と申込み用紙をアウトプットし、申込用紙に記入の上、電話で集荷を依頼。

集荷依頼先(電話番号) 0120-826-295 (バリューブックス社)

お願い⇒申込用紙は、下記部分に加筆(書き加えて)してご使用下さい。(オテガミプロジェクトの実績にするため)

④ 「ご署名欄」上部に「オテガミプロジェクト(企業ID:OTE)」と記入してご署名下さい。

⑤ 団体ID欄(右下)に「44」とご記入ください。

被災地オテガミプロジェクト推進チーム☎090-2455-5677(久保田)



第36回全国都市緑化信州フェア

信州花フェスタ2019

～北アルプスの贈りもの～

メイン会場

ボランティア募集

開催期間

2019.4.25(Thu) - 6.16(Sun)



「全国都市緑化フェア」は、緑がもたらす快適で豊かな暮らしがある街づくりを進めるために、

昭和58年(1983年)から全国各地で開催されている花と緑の祭典で、長野県内では初の開催となります。

「信州花フェスタ2019」では、「北アルプスの麓から広がる 花と緑に包まれた しあわせ暮らし」をテーマに、

メイン会場となる信州スカイパーク(長野県松本平広域公園)で一緒に活動していただき

ボランティアを募集します。可憐な花や緑で彩るメイン会場で、たくさんの出会いと感動と一緒に体験しましょう。

主催：長野県・松本市・大町市・塩尻市・安曇野市・公益財団法人都市緑化機構

— 第36回全国都市緑化信州フェア実行委員会事務局 —

〒399-8205 長野県安曇野市豊科4960-1 (長野県 建設部 都市・まちづくり課 全国都市緑化信州フェア推進室内)
TEL:0263-88-1182 | FAX:0263-88-1187 | E-mail:hana2019-mt-section@pref.nagano.lg.jp

[公式ホームページ] <https://shinshu-hanafesta2019.jp/>

募集概要

- 【募集人数】 500名程度
- 【活動期間】 2019年4月25日(木)～6月16日(日)の53日間
- 【活動場所】 メイン会場 信州スカイパーク (長野県松本平広域公園)
- 【活動内容】
- ①会場運営サポート(開催期間中3日以上参加できる方を対象)
ボランティア活動記録の作成、
会場運営にかかわるスタッフのサポート等
 - ②会場サービス(開催期間中1日以上参加できる方を対象)
案内所業務のサポート、来場者のお出迎え、
パンフレット等の配布、貸出物の受付返却対応、催事関係業務のサポート等
 - ③花緑の維持管理(開催期間中1日以上参加できる方を対象)
会場内植物の維持管理活動(花がら摘み等)
- 【活動時間】 9:30～16:30
(受付8:45～9:00、朝礼9:00～、活動9:30～16:30、終礼・解散～17:00)
- 【応募条件】 *ボランティア活動内容・期間・待遇等を了承できる方
*平成16年(2004年)4月1日以前に生まれた方(満18歳未満は保護者の同意が必要)
*原則9:30から16:30まで通して活動できる方
- 【待遇】 *ユニフォームは、実行委員会から支給します。
*ボランティア保険に実行委員会負担で加入します。
*1日参加ごとに会場内で使用できるサービス券等を支給します。
※交通費・昼食費等は自己負担、ボランティア説明会等でサービス券等の支給はありません。
- 【応募方法】 *公式ホームページからお申し込みいただくか、申込票を事務局までご提出ください。
募集期間終了後に、ボランティア説明会の参加日などを書面でお知らせします。
- 【募集期間】 2018年9月3日(月)～2019年1月31日(木)
- 【備考】 *当日の天候等の状況により、活動が中止又は変更になる場合があります。
*応募状況等により、活動内容等、ご希望に添えない場合があります。
*中学生以下のお子様と一緒にご参加を希望される方は、事前にご相談ください。
*自家用車等でお越しの方には、駐車場を用意します。
*信州花フェスタで知り得た個人情報、他の目的に使用又は第三者に漏らさないようお願い
します。



ボランティア説明会

説明会	日時	3月15日(金) ①9:00~12:00 / ②13:30~16:30 3月16日(土) ③9:00~12:00 / ④13:30~16:30 3月17日(日) ⑤9:00~12:00 / ⑥13:30~16:30 ※原則として、上記①から⑥のうち1回参加してください。
	場所	①・②:安曇野市穂高公民館(穂高会館) 最寄駅 ▶▶▶ 穂高駅(徒歩10分)、駐車場(200台程) ③~⑥:松本市松南地区公民館(なんなんひろば) 最寄駅 ▶▶▶ 南松本駅(徒歩10分)、駐車場(200台程)
	内容	信州花フェスタとボランティア活動の概要説明、接遇研修 等
現地見学説明会	日時 場所	4月中旬にメイン会場で3~4回程度実施 ※日時は、説明会等で連絡 ※原則として、このうち1回参加してください。
	内容	現地見学と説明 活動毎の実施場所にて担当者より説明(活動内容の確認)

ボランティア活動イメージ



会場運営サポート



会場運営サポート



〈メイン会場〉



会場サービス



会場サービス



会場サービス

お申し込みを
ご検討中の
皆さまへ



花緑の維持管理



花緑の維持管理



花緑の維持管理

10月下旬からメイン会場にて、会場のイメージやボランティア活動の内容などをご案内します。ご検討中の皆さまにとって良机となれば幸いです。開催日時など、詳細は公式ホームページ等でお知らせします。ご参加をお待ちしています。

ボランティア参加申込票

ふりがな			性別
氏名			
生年月日	西暦 年 月 日 生まれ (満 歳)		
所属団体 又は 代表者氏名	※個人で参加の場合は記載不要です。		
住所	〒 - 都・道 府・県		
電話	※日中連絡のとれる連絡先		
E-mail	※E-mailアドレスをお持ちでない場合は記載不要です。 @		
保護者の同意	18歳未満の方は、下記に保護者の同意署名を記載してください。 申込者のボランティア参加に同意します。 保護者署名		
活動内容	希望がある場合は、活動内容に希望順(1.2.3)を記載してください。		
	会場運営サポート	下記よりボランティア説明会参加可能日時を番号で選んでください。 (3月15日(金) 安曇野市 穂高公民館 / 3月16日(土)・17日(日) 松本市 松南地区公民館) ① 3月15日(金) 09:00~12:00 ⑤ 3月17日(日) 09:00~12:00 ② 3月15日(金) 13:30~16:30 ⑥ 3月17日(日) 13:30~16:30 ③ 3月16日(土) 09:00~12:00 ④ 3月16日(土) 13:30~16:30	
	会場サービス		
花緑の維持管理			
活動可能日数	()日程度	第一希望(), 第二希望()	
活動可能曜日	<input type="checkbox"/> 月曜日 <input type="checkbox"/> 火曜日 <input type="checkbox"/> 水曜日 <input type="checkbox"/> 木曜日 <input type="checkbox"/> 金曜日 <input type="checkbox"/> 土曜日 <input type="checkbox"/> 日曜日 <input type="checkbox"/> 指定無し <input type="checkbox"/> 祝日可		
ユニフォームサイズ	<input type="checkbox"/> S <input type="checkbox"/> M <input type="checkbox"/> L <input type="checkbox"/> XL <input type="checkbox"/> XXL (※すべて男女兼用) サイズは参考として確認させていただきます。ユニフォームの仕様により、ご希望サイズと異なる場合がございます。		
会場への交通手段	<input type="checkbox"/> 自家用車 <input type="checkbox"/> バイク・原付 <input type="checkbox"/> 自転車・徒歩 <input type="checkbox"/> 公共交通機関 <input type="checkbox"/> その他()		
自由記入欄	※語学、手話、花緑に関する資格、各種ボランティア参加経験 等		

〈個人情報取り扱い〉 取得した個人情報は取得目的の範囲内で利用し、これらの目的以外で利用はしません。

ボランティアに関するお申し込み・お問い合わせ

第36回全国都市緑化信州フェア実行委員会事務局 担当:丸山(まるやま)、澤邊(さわべ)

[住所] 〒399-8205 長野県安曇野市豊科4960-1 長野県安曇野庁舎3F

[TEL] 0263-88-1182 [FAX] 0263-88-1187

[E-mail] hana2019-mt-section@pref.nagano.lg.jp

[お問い合わせ時間] 月曜日～金曜日 9:00～17:00 ※土・日・祝日及び2018年12月29日～2019年1月3日を除く

信州花フェスタ2019
～北アルプスの贈りもの～
公式ホームページ

[<https://shinshu-hanafesta2019.jp/>]





天空の里 いもい農場

2018年度

食農体験!!

参加家族募集!

ボランティア
スタッフ
同時募集



場所 長野市 芋井広瀬地区 長野市広瀬2261 (長野県庁より車で約20分)

参加費 年会費：大人 (中学生以上) 2,500円 子ども 1,500円

飛び入り参加費：一人当たり 500円 (大人、子ども共通)

全14回
(詳細は裏面)

天空の里 いもい農場 とは?

ここは天空かと思間違えるほど、美しく見晴らしの良いロケーションにある「芋井広瀬地区」。市中心部からほど近いこの場所を拠点として、子どもたちとその家族に「食農体験の場」を提供しているボランティア団体です。

子どもたちが、幼い頃からたくさん土に触れ、作物作りの楽しさと大変さを学び、虫や草花とともにあることの大切さを知ることによって豊かに育てほしい—そんな願いで活動に取り組んでいます。前身は2003年、生活協同組合コープながの主催の「いもい野遊び塾」として始まり、2014年からは有志が芋井地区住民自治協議会の協力を得て運営し、今年で16年目を迎えます。

こんな家族に
オススメ!

農業をやって
みたいけど
家族だけでは
ちょっと...

子どもに
農業体験を
させたい!

おいしい
野菜を
食べたい!

やっぱり
生き物が好き!

主催

天空の里 いもい農場

後援

芋井地区住民自治協議会

*。天空の里 いもい農場が目指すこと

1. 農作業や野遊びを体験することで、自然を身近に感じ、子どもたちの「環境・農業・食べ物を大切に思う気持ち」を育むこと。
2. 中山間地域と都市部の人々との交流を図ること。
3. 中山間地域の森や農地の保全、食文化の継承・発展に繋がること。

天空の里 いもい農場は、作物の収穫や本格的に農業を勉強することを目的とした活動ではありません。私たちはこの活動を通して、自然豊かな中山間地域「芋井地区」に、食農体験と交流できる場を作ること、ここに人々が集い、旬の野菜を育て収穫し、笑いあう「子どもたちの声」を響かせたいと考えています。そしてみんなが「いもいのファン」になってくれたら…そんな願いを抱えています。

代表 山岸 茂晴



2018年度 活動日

活動日 1 **4/21** 土 「山はおいしい、食べ物の宝庫！」
食べられる野草を探して食べてみよう！

活動日 2 **5/5** 土 「いもい探検隊！」
ミニオリエンテーリングをしながら、天空の里「芋井」を知ろう。

活動日 3 **5/19** 土 「田んぼはドーロ泥！」
泥んこになって、みんなで楽しく田植えをしよう！

活動日 4 **6/9** 土 「あなたも私も、新聞記者！」
農作業しながら取材をして壁新聞を作ろう。

活動日 5 **6/23** 土 「朝飯前の農業体験をしよう！
& 田んぼの生き物調査」
早朝の農業体験&生き物調査をして、虫博士にたくさん質問しよう。

活動日 6 **7/7** 土 「草との戦い、中間作業を楽しもう！」
農作業で大切な中間作業を、みんなで一致団結して取り組みます。

活動日 7 **7/21** 土 「手打ちうどん修行 ザ！手打ちうどん」
こねて、踏んで、おいしいうどんを作ろう。

活動日 8 **8/11** 土 「ジャガイモ収穫したい(隊)！」
超！新ジャガを使った絶品カレーつき。

活動日 9 **8/25** 土 「夏野菜が主役のバーベキュー！
& 子どもの縁日！」
スタッフ特製シロップ遊び放題！豪華な特製力キキ、味わえます。

活動日 10 **9/8** 土 「稲刈りをしよう！」
稲刈りの後に、信州のソウルフード「おやき」を作ってお腹を満たそう。

活動日 11 **9/29** 土 「超新米を味わおう！」
脱穀後、すぐ精米、すぐ炊飯、すぐ食べよう！※天候都合で変更有

活動日 12 **10/20** 土 「収穫の秋！味覚の秋！」
サツマイモにリンゴ収穫、蜀土料理「おしぼりうどん」をみんなで食べよう。

活動日 13 **11/10** 土 「白菜・大根・長ネギ etc…収穫隊！」
最高の景色を見ながら、焼き芋を味わおう。

活動日 14 **11/24** 土 「大収穫祭！
～1年間お疲れさまでした！～」
究極の地産地消料理をたくさん作って味わおう！



参加者の声

- ・野菜の成長過程を子どもと一緒に知ることができた。
- ・中山間地域の状況を知ることができました。
- ・山間の集落で、空気が澄んで、長野市が一望できる、自然豊かな場所。まさに「天空の里」です。
- ・自然がたっぷり、楽しく遊べること。
- ・作物を作ることの厳しさ、楽しさ。
- ・非日常の自然の景色に癒される。
- ・「天空の里」、地域住民の方が優しい。
- ・自然とふれあい、農作業をみんなでやることの楽しさ！
- ・たくさん美味しいものを、楽しいスタッフのみなさんと一緒に収穫して食べて食べられたので、大満足。ありがとうございました。
- ・幅広い世代の参加者がいて、世代間交流ができる！



お問い合わせ先 天空の里 いもい農場 運営事務局 | imoi.hirose@gmail.com | 090-9358-3286

活動通信(ブログ) <http://blog.canpan.info/imoi/>



フェイスブック <https://www.facebook.com/imoi.hirose>



2018年度 参加者アンケート 集約

Q1：活動の満足度とその理由

【提出7枚中、大満足4枚、満足3枚、普通0枚、やや不満0枚、不満0枚】

□大満足

- ・ 来るたびに新しいことを覚えます。料理、作物の作り方、手入れの仕方。
- ・ 世代を超えて交流ができる事。
- ・ 農業だけでなく、いろいろな企画の用意があり、楽しかった。
- ・ 草取りや早朝からの作業など、より農家の大変さを感じられる活動だった。
- ・ 料理のレパートリーが2種類増えたこと。
- ・ 嫌いなネギ、熱を加えただけの焼きネギにしたら食べられた。
- ・ 畑仕事を教えてもらうことができたこと、
- ・ 子どもも嬉しそうで、楽しみな土曜日になりました。
- ・ シニア世代になり、今までの子育ての反省で、孫育てに役に立てていきたいと思い参加。今年は、ゆとりある子育て中の皆さまと知り合えて、かなりの成長でした。自分で、自分に80点くらいつけています。
- ・ おりょうりがたのしかった。
- ・ 娘と種まきや収穫、虫捕りを一緒にすることができました。
- ・ 初めてリンゴ収穫をすることができたこと。
- ・ りんごがいっぱいとれてうれしかった。

□満足

- ・ 田植えや野菜の苗植えに始まり、収穫までの体験を通じて、貴重な時間が持て、嬉しい時を過ごせ感謝です。
- ・ 今年、田植えと稲刈りができて、脱穀ができなかった。昨年、稲刈りと脱穀ができた。やってみたいことが体験できた。
- ・ いろいろと良い経験ができました。ありがとうございました。

Q2：参加して、成長したなぁ、と思うことや、新たに発見したこと

- ・ 料理方法。
 - ・ サツマイモのツルが食べられること。
 - ・ 散水設備が十分でなくても作物ができること。
 - ・ 若いお母さん、お父さんの子育てに接することができ、職場での子どもたちと接する際にとても助かっています。
 - ・ 収穫する楽しさ、娘の嬉しそうな笑顔をたくさん見られました。
 - ・ りんごのとりかたがわかった。
-

- ・ 野草の料理の仕方が参考になった。

Q3：来年参加するならやってみたいこと

農作業関係

田植え（5票）、リンゴの収穫（5票）、ジャガイモ栽培（4票）、種まき（4票）、

企画物関係

うどん作り（7票）、パン焼き（5票）、おやき作り（4票）、餅つき（4票）、野沢菜漬
け作り（2票）、しめ縄作り（2票）、収穫した野菜でピザ作り（1票）

Q4：あなたが芋井の魅力を、お友だちや他の人に一言で伝えるとしたら？

楽しい

- ・ いろんな世代と交流をしながらの食農体験ができて、とても楽しい！
- ・ 楽しいことがいっぱいある。
- ・ 娘が芋井に行くのを楽しみにしているんだよ！

ロケーション

- ・ 自然に触れることができる！
- ・ いろいろ野菜があるよ♡
- ・ 自然が豊か！
- ・ 芋井の人たちの気持ち（外部からの人たちを受け入れる姿勢が気持ち良いです）
- ・ いもい農場の参加者のような人だけで日本ができていたら、平和になりますね！皆、家族のような人の集まりでした。

以上
